

令和3年11月19日

まちづくり委員会資料

全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子
の策定に伴うパブリックコメントの実施
について

建設緑政局

1 全国都市緑化かわさきフェア基本構想

1 全国都市緑化フェアについて

全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識の高揚、都市緑化に関する知識の普及等を図ることにより、国、地方公共団体及び民間の協力による都市緑化を全国的に推進し、緑豊かな潤いある都市づくりに寄与するものです。



第33回横浜フェア
みなとガーデン（街中）



第36回信州フェア

県営松本平広域公園



全国都市緑化祭
（皇室による記念植樹）

2 全国都市緑化かわさきフェアについて

本市は、令和6（2024）年7月に市制100周年を迎えます。これまで本市では、110年ほど前から臨海部が埋め立てられ工業が発展するとともに、徐々に北部に向かって都市開発がされていく中で、多くの樹林地が失われ、それと引き換えに利便性の高い都市が生まれてきました。

そして現在、川崎の持続的な発展を目指す上では、積極的にSDGsの達成や脱炭素社会の実現に寄与する取組を進めていく必要があり、この取組においても、みどりの果たす役割はとても重要です。

これまでのみどりの歴史や強み等を振り返りながらみどりについて市民の皆さんと一緒に考え行動することで、新たなみどりの文化を醸成し、だれもが住み続けたいまちへとつなげていく、そのための大きなチャンスであると捉え、緑化フェアを本市で開催し、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信することとします。

開催意義

- 1 市民が暮らしの中で、積極的にみどりを取り入れるためのきっかけをつくること
- 2 みどりに関する機運を高め、市民の行動につなげていく契機とすること
- 3 市民の行動が新しい川崎のみどりの文化を育み、誰もが住み続けたいまちにつなげていくこと

基本理念

- I かわさきフェアは、「みどりを持つ力を、未来の川崎に向けて、みんなが暮らしの中で上手に活用する取組」を推進します。
- II 川崎の多様な人・暮らし・みどりを結びつけることで、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」を推進します。
- III かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいきます。

コンセプト

Green For All！でみどりのムーブメントを起こします

みどりは、すべての人に等しく存在し、まちづくりや暮らしのすべての場面で多様な効果を発揮します。

2 かわさきフェアを契機とした みどりのまちづくり に向けた取組

1 みどりのまちづくりに向けて

・緑には、環境、レクリエーション、防災などの主要な機能や効果がある他、自然環境教育、観光、産業振興、健康福祉等の場としての多様なポテンシャルがあります。

・多発する自然災害や新型コロナウイルス感染症の拡大の影響などにより社会状況が大きく変化する中で、緑とオープンスペースにおいては、従来のコミュニティ活動の場やグリーンインフラ、健康的に過ごせる場としてだけでなく、テレワーカーの作業場所やフィットネス利用、キッチンカーの配置による賑わいの創出など、利用形態の多様化や柔軟な活用に対するニーズが高まっています。

・こうしたことから、緑を取り巻く社会状況の変化や市民ニーズの多様化に柔軟に対応しながら、みどりが持つ多様なポテンシャルを、川崎の共有の財産として認識するとともに、その効果が実感でき、人々が暮らしやすく住み続けたいまちとするため、市民や企業、行政などの多様な主体と将来像を共有しながら、みどりのまちづくりに取り組んでいくことが重要です。

2 取組姿勢・目指すべき将来像

・昨今の社会状況の変化等を踏まえ、かわさきフェアを契機として、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、誰もが心豊かな暮らし（ウェルビーイング）を実現し、住み続けたいと思われ続けるようなまちをつくるため、目指すべき将来像を設定します。

・その将来像の実現を目指し、かわさきフェア開催以降にもつなげる様々な取組を、かわさきフェア開催前から展開していきます。

【目指すべき将来像】

みどりでつなげる、暮らしやすく住み続けたいまち

3 取組方針

・目指すべき将来像の実現に向けて、かわさきフェア開催の基本理念を踏まえた将来に向けた取組方針を設定し、取組を進めます。

【基本理念Ⅰ】 かわさきフェアは、「みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、みんなが暮らしの中で上手に活用する取組」を推進します。
～ 100年先の笑顔のために、持続可能で最先端の都市緑化の推進 ～

取組方針

・みんなが生き生きと居心地よく活動できる空間の創出、質の高いみどりを取り入れる仕掛けづくりを行うとともに、グリーンインフラの取組が推進できるよう、みどりの適正な保全、創出、育成及び活用を進めます。

・次の100年も、川崎に住みたい、暮らしたいと思われよう、社会状況の変化や市民の多様なニーズに対応しながら、最先端の技術が集積する川崎ならではの都市緑化を推進します。



【取組例】生き生きと活動できる空間の創出



【取組例】みどりを取り入れる仕掛けづくり

【基本理念Ⅱ】 川崎の多様な人・暮らし・みどりを結びつけることで、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」を推進します。
～ みどりが持つ力で、誰もがオープンにつながり、様々なイノベーションを起こす社会モデルの構築 ～

取組方針

・市民、企業等あらゆる主体が自由に参加し、協働・共創で、それぞれの持つ独自の技術や柔軟なアイデア、ノウハウ、知識などを組み合わせることにより、川崎のみどりの新たな価値を生み出す仕組みを構築し、全市民のみどりのムーブメントにつなげていきます。



【取組例】あらゆる主体が自由に参加する協働・共創の取組



<協働・共創の取組イメージ>

【基本理念Ⅲ】 かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないでいきます。
～ 誰もが生きる喜び、幸せを感じられる多様な文化あふれる文化の創出 ～

取組方針

・地域の愛着を高め、市民一人ひとりが生きがいを持って活躍できるといった、川崎らしい多様な文化あふれる文化の創出につなげる取組を推進します。

・みどりの多様な効果をできる限り見える化し、わかりやすく普及啓発することで、みどりを大切にする豊かな心を育む取組を推進します。



【取組例】みどりの効果をわかりやすく普及啓発



【取組例】みどりを大切にする豊かな心を育む取組

全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子（案）【概要版】

3 全国都市緑化かわさきフェア 行催事等計画（骨子）

1 コンセプト・基本方針

- ・かわさきフェアでは、**みどりが持つポテンシャルを効果的に活用し、これまで培ってきた川崎の強みや各地域の特色を活かしながら、各分野の取組と連携して、多様な主体がつながり、行動するきっかけとする市民総参加型のフェアとなるよう、取組を展開していきます。**
- ・そのため、開催意義、基本理念、取組方針に加え、国土交通省が平成25（2013）年度に提案した「これからの全国都市緑化フェアに求められる役割」を踏まえ、次のとおり、かわさきフェアの基本方針を設定しました。

【コンセプト】 Green For All！でみどりのムーブメントを起こします

【基本方針】	かわさきの多様なみどりの“力”を感じるフェア	先端技術で新たな都市緑化の“形”をつくるフェア	多様なみどりでつながる“行動”を生み出すフェア	環境・社会・経済的価値を同時に実現できる“社会”を示すフェア	かわさきらしい多様なあふれる“文化”を育むフェア
	生物多様性や都市が抱える様々な課題の解決につながるグリーンインフラの持つ多様な機能や効果の発信など	フェアを通じて、川崎の持つ最先端の技術、アイデアによる新しい都市緑化の実現 など	多様な主体がつながり、フェア開催後も、みどりの新たな価値を生み出していく仕組みづくり など	これまで培ってきた川崎の強みを活かして、SDGsの達成や脱炭素社会の実現に向けた、みどりが持つ多様なポテンシャルの発信など	地域への愛着を持った市民一人ひとりが、暮らしの中でみどりと関わりながら、地域性あふれる多様な文化を育む機会の創出など

2 基本的事項

- **名称** 第41回 全国都市緑化かわさきフェア
- **主催者等** 主催者：川崎市、公益財団法人都市緑化機構
実施主体：かわさきフェアの実行組織として実行委員会を設立
- **開催期間** 地域資源を活かした個性的な取組を全市的に展開していくため、各区の木や花の見頃などを踏まえて、次のとおり、秋、春の季節ごとに開催期間を設定しました。
令和6年10月中旬～11月上旬（20日間程度）／令和7年3月上旬～3月下旬（30日間程度）
- **会場** コア会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地
協賛・連携会場等：駅、商業施設、民有空地、区役所、緑化推進重点地区、公園緑地、バーチャル会場 など
- **入場者規模、概算事業費、愛称・シンボルマーク** 基本・実施計画において決定

3 会場構成等

- **会場設定の考え方**
 - ・地域ごとに様々な顔を持つ川崎の多様なみどりを活用する取組を全市的に展開
 - ・それぞれの地域の特色ある取組を相互に連携することで、市内全体で一体感を生み出す。
- **コア会場** 市内の南・中・北部それぞれに立地する総合公園をコア会場とする。

【南部】富士見公園・・・緑とスポーツ・文化・レクリエーションの拠点

- ・川崎の多様性や先進性あふれる様々な取組を発信する企画展示や市民のライフスタイルに溶け込んだ公園の新しい使い方を体感できるプログラムを展開
- ・富士見公園周辺の施設との連携を図り、各施設の特徴を活かした企画展示、体験型プログラムなどを展開
- ・市民・地域の団体等が日頃取り組んできた成果を発信する市民発信型のプログラムを展開

【中部】等々力緑地・・・スポーツの聖地・緑と水の拠点

- ・多彩なスポーツと緑、水を活かした様々な体験型プログラムなどを展開
- ・多様な主体とコラボレーションしながら、豊かな自然や水辺環境等を知り、学び、体感できる取組を展開

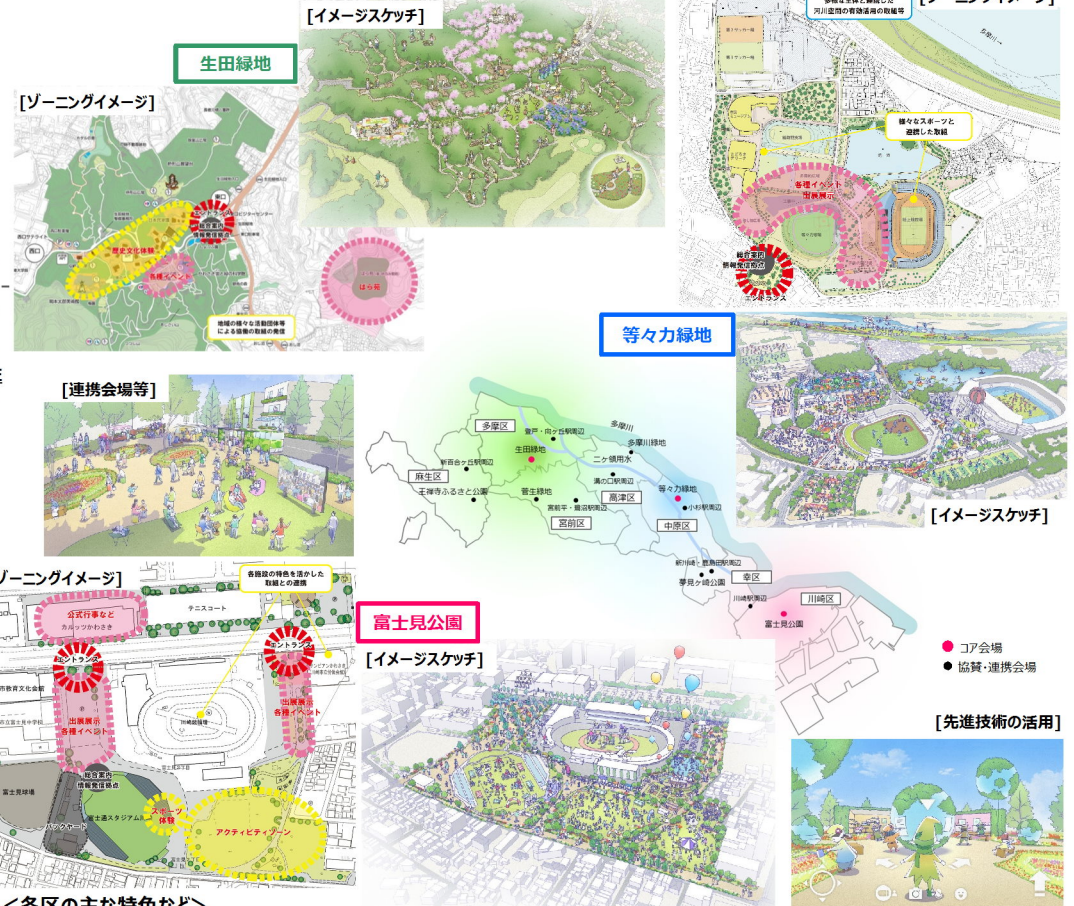
【北部】生田緑地・・・豊かな自然と歴史・文化・芸術の拠点

- ・市民協働の取組を全国に発信するとともに、大学等と連携し、環境教育や保全活動等の体験学習プログラムを通じて、協働の担い手の育成につながる取組を展開します。
- ・ばら苑などの豊かな自然環境や、歴史・文化・芸術といった魅力に触れ、感じることのできるプログラムを展開

● 協賛・連携会場等

- ・みどりとオープンスペースを効果的に活用して、多様な主体と協働・連携した取組を市内全域で展開
- ・公共空間と駅、商業施設、民有空地等を一体的に活用して、市民、企業、行政等の協働・共創による先進的な取組を発信
- ・市民一人ひとりがそれぞれの暮らしの中でみどりと関わりを持ち、みどりに親しみ、その効果を実感できる取組を展開
- ・先進技術を活用し、誰もがかわさきフェアを体感し、参加できる仕掛けを検討

【各会場における展開イメージ】



<各区の主な特色など>

区	主な特色	主な協賛・連携会場イメージ
川崎	・富士見公園を拠点としたまちの賑わい創出に寄与するまちづくり ・臨海部の魅力的なロケーションを活用した交流と賑わいの創出	川崎駅周辺 臨海部（キングスカイフロントなど） 他
幸	・御幸公園における梅香事業の推進による地域の魅力創出 ・夢見ヶ崎公園を活用した賑わいの創出、地域コミュニティ形成	新川崎・鹿島駅周辺、川崎駅西口、御幸公園、 夢見ヶ崎公園 他
中原	・小杉駅周辺の公共空間を活用した居心地がよく住みやすいまちづくり ・等々力緑地におけるパークマネジメントの推進によるまちの賑わい創出	小杉駅周辺、多摩川緑地、 特色ある商店街（プレーメン通り） 他
高津	・多摩川や二ヶ領用水、橋樹官衙遺跡群など、緑、水辺と一体となった魅力的なまちづくり ・地域資源を活用した持続可能な地域社会（エコシティ）の形成	溝の口駅周辺、多摩川緑地、二ヶ領用水、 橋樹官衙遺跡群 他
宮前	・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり ・歴史的遺産や農といった地域資源を活用し、緑と水と一体となった魅力的なまちづくり	宮前平・鷺沼駅周辺、菅生緑地、野川・有馬 などの植木の里、平瀬川 他
多摩	・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり ・里地里山の保全や豊かな自然資源を活用した交流、賑わいの創出	登戸・向ヶ丘遊園駅周辺、多摩川緑地、 緑化センター 他
麻生	・保全緑地における保全と利活用の取組による子どもたちがのびのびと自然にふれあい成長できる空間づくり ・農ある風景の保全と農家・市民と連携した地域農業の振興による魅力的なまちづくり	新百合ヶ丘駅周辺、王禅寺ふるさと公園、王禅寺四ツ 田緑地、黒川・早野・岡上などの里地里山・農地 他

全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子(案)【概要版】

3 全国都市緑化かわさきフェア 行催事等計画(骨子)

4 事業計画

<p>協働推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これまでの市民協働の取組も大切にしながら、地域の団体と、子どもたちや若者が出会い、新たなつながりを生み出します。 ●企業、地域の団体等を巻き込み、フェア開催以降につながる新たな協働、共創による仕組みの構築につなげていきます。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境教育や自然体験、農とふれあ体験学習プログラムなどの機会を通して、市民や地域の様々な団体等と一緒に体験し、楽しみながら、新たな交流を生み出す場の提供 ●SNSやアプリなどのICTを活用した、市民、地域の活動団体、商店街、民間企業、教育機関、行政などが互いにつながることで、フェア終了後も活動を継続・発展していくことができる持続可能な協働・共創の仕組みづくり等 	 <p>(例) 子どもたちによるかわさきフェアに向けた花苗の育成</p>	<p>広報宣伝</p> <ul style="list-style-type: none"> ●川崎の多様性や魅力を全国に発信するとともに、すべての世代に幅広く浸透させるため、フェア開催前から広報を展開し、機運を高めます。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の様々な情報媒体やSNS等の活用による戦略的な広報 ●地域愛の醸成につながる農産物や特産品等を活用した川崎の魅力の発信 ●会場の一体感を高めるため、市内全域で展開される取組や活動のリアルタイム情報の発信等 	 <p>(例) SNSを活用した広報宣伝(出典: 嵐山市 amazing_toyama)</p>
<p>出展展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様なみどりを活用し、様々な分野の取組と連携して、先進技術等の手法も駆使しながら、本市の魅力や強みを発信する取組を展開します。 ●市民の日常生活に溶け込んだ、身近なみどりの魅力を体感できるような企画展示を展開します。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様なみどりと、環境、教育、文化、歴史、農、福祉、先進技術等の各分野と連携した川崎の多様性あふれる魅力や強みを感じる機会の創出 ●身近なみどりの魅力を体感し、暮らしの中にみどりを取り入れる楽しさ、心地よさを感じる展示等 	 <p>(例) 川崎市出展花壇(第36回信州フェア)</p>	<p>植物調達</p> <ul style="list-style-type: none"> ●行催事や出展展示等において使用する花き・植物について、市場への影響にも考慮した植物調達体制を構築します。 ●地域で生産されている花き・植物を積極的に活用することで、認知度とブランド力を高め、フェア終了後も需要が持続する取組を検討します。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域の生産者、造園業者や教育機関、企業等と連携・協力した計画的かつ安定的な生産・供給体制の構築 ●フェア終了後の持続的な花き・植物需要の創出に向けた方策の検討(花苗→枯れた後の堆肥化→新たな花苗への施肥のようなモデル等の展開)等 	 <p>(例) ロスフラワー活用</p>
<p>行催事</p> <ul style="list-style-type: none"> ●既存イベントや地域の取組と連携した市民発信型の行催事をフェア開催前から展開します。 ●多様なみどりや水などの特色ある自然の魅力を知り、体感できる取組を推進します。 ●これまでの100年で培ってきた川崎の魅力や強みを発信します。 ●市制100周年に合わせた記念事業などと連携した取組を推進します。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民、企業等が主体となったこれまでの取組の成果を発信する、コンクール、シンポジウムなどの開催 ●市内の各会場を回遊し、各会場の魅力を体感するプログラムの展開 ●市民、企業等とともに盛り上げ、川崎の多様性あふれる魅力や強みを市内、全国に発信するための公式行事の実施等 	 <p>(例) わがまち花と緑のコンクール</p>	<p>交通輸送</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公共交通機関の利用を前提としつつ、多様な交通手段と連携し、来場者の円滑な輸送手段を確保し、市内各会場間の回遊性の向上を図ります。 ●環境に配慮した交通輸送を展開します。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●先進技術(MaaS等)の積極的な活用の検討 ●利便性が高く市内各会場への移動が楽しくなる仕掛けの検討 ●既存の公共交通機関の利用促進及び交通量増加等による周辺への影響を踏まえた交通対策の実施 ●温室効果ガスの抑制など交通輸送時の環境負荷低減に向けた輸送計画の検討等 	 <p>(例) 「しんゆりMaaS」実証実験(出典: 小田急電鉄より)</p>
<p>会場運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協働した運営手法を導入し、環境や安全面に配慮するとともに、誰もが快適に参加できるような適切な会場運営を行います。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多様な主体との連携・協働体制の構築による市民総参加型の会場運営 ●市内の企業、団体等の参画促進のための多様な協賛形態の構築、募集の実施 ●既存施設の効果的な活用など、環境に配慮した会場整備 ●AIを用いた人流分析、評価による混雑対策の検討等 	 <p>(例) 多様な主体との連携・協働による会場運営</p>	<p>飲食・物販</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産者や飲食店等と連携・協力して、地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供します。 ●衛生や環境面に配慮したサービスを提供します。 	<p>展開イメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生産者や飲食店、民間事業者等と連携した川崎の特産品の提供 ●農産物等を使用した川崎ならではの食文化の発信につながるご当地グルメ等の提供 ●感染症対策の徹底や食品ロス対策、容器のリユース・リサイクルなどの取組の推進 ●地域の商店街や飲食店等をめぐりながら川崎の食の魅力を体感できるプログラムの提供等 	 <p>(例) 市内農産物を活かした食の提供</p>

5 推進体制

ア 実行委員会の設置

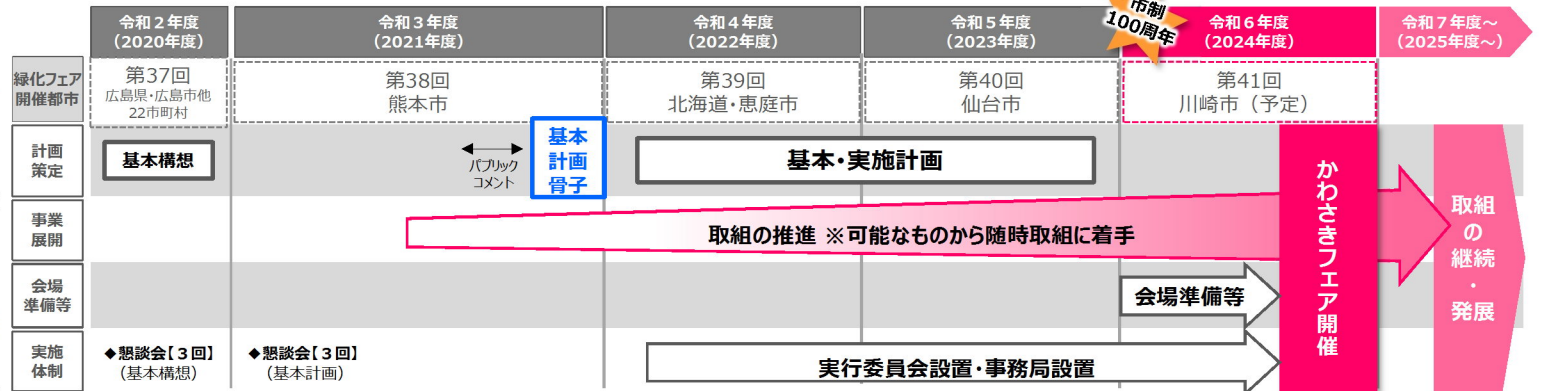
かわさきフェアの円滑な事業推進や市制100周年に合わせて行われる記念事業などの連携を目的に、主催者、学識経験者、各分野の関係団体等により構成する実行委員会を設置します。

イ 実行委員会幹事会(事務局)の設置

かわさきフェアの実施にあたり、実行委員会の事務処理等を行うため、市制100周年に合わせて行われる記念事業などの連携を踏まえて、実行委員会事務局を設置します。

6 スケジュール

・令和3(2021)年度に策定する基本計画骨子を踏まえ、令和4(2022)年度に設置する実行委員会において基本・実施計画を策定し、かわさきフェア開催に向けた取組を推進します。



「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子（案）」 について御意見をお寄せください



本市では、これまでの100年を振り返り、次の100年により豊かな環境をつないでいくきっかけとなり、全国へ川崎のみどりを発信するため、市制100周年を迎える令和6年度の全国都市緑化かわさきフェアの開催誘致に向け、取り組んでおります。

かわさきフェアを契機としたみどりのまちづくりに向けた取組やかわさきフェアの開催に関する各種計画を示した「全国都市緑化かわさきフェア基本計画骨子（案）」について、皆様の御意見をお寄せください。

1 意見募集の期間

令和3年11月22日（月）～令和3年12月21日（火）

※郵送の場合は、令和3年12月21日（火）の消印まで有効です。

※持参の場合は、令和3年12月21日（火）の17時15分までとします。

2 意見の提出方法

住所、氏名（団体の場合は、名称及び代表者の氏名）及び連絡先（電話番号、住所又はメールアドレス）を明記の上、次のいずれかの方法によりお寄せください。

(1) 電子メール

川崎市ホームページの「パブリックコメント手続」にアクセスし、ホームページ上の案内に従って専用フォームメールを御利用ください。

(2) ファクシミリ

FAX番号：044（200）3973

（川崎市建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当）

(3) 郵送先

〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク17階

川崎市建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当

(4) 持参先

川崎市川崎区駅前本町12-1 川崎駅前タワー・リパーク17階

川崎市建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当

《注意事項》

- ・ 御意見に対する個別回答はいたしません。市の考え方を整理した結果を市のホームページにて公表します。
- ・ 個人情報については、提出された御意見の内容を確認する場合に利用し、川崎市個人情報保護条例に基づき厳重に保護、管理します。
- ・ 電話や口頭での御意見の提出は御遠慮ください。
- ・ 持参時の提出時間は、開庁日の8時30分から17時15分（12時から13時を除く）

3 資料の閲覧及び配布場所

川崎市ホームページ、かわさき情報プラザ（川崎市役所第3庁舎2階）、各区役所市政資料コーナー、市民文化局コミュニティ推進部協働・連携推進課、建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当

4 問合せ先

川崎市建設緑政局緑政部緑化フェア推進担当

電話：044（200）1736 FAX番号：044（200）3973

E-mail: 53grfair@city.kawasaki.jp